

兒こ雷らい也や豪傑譚こうせつたん  
 上の卷  
 第十五篇ごじゅうごふへん



13  
 3878  
 29

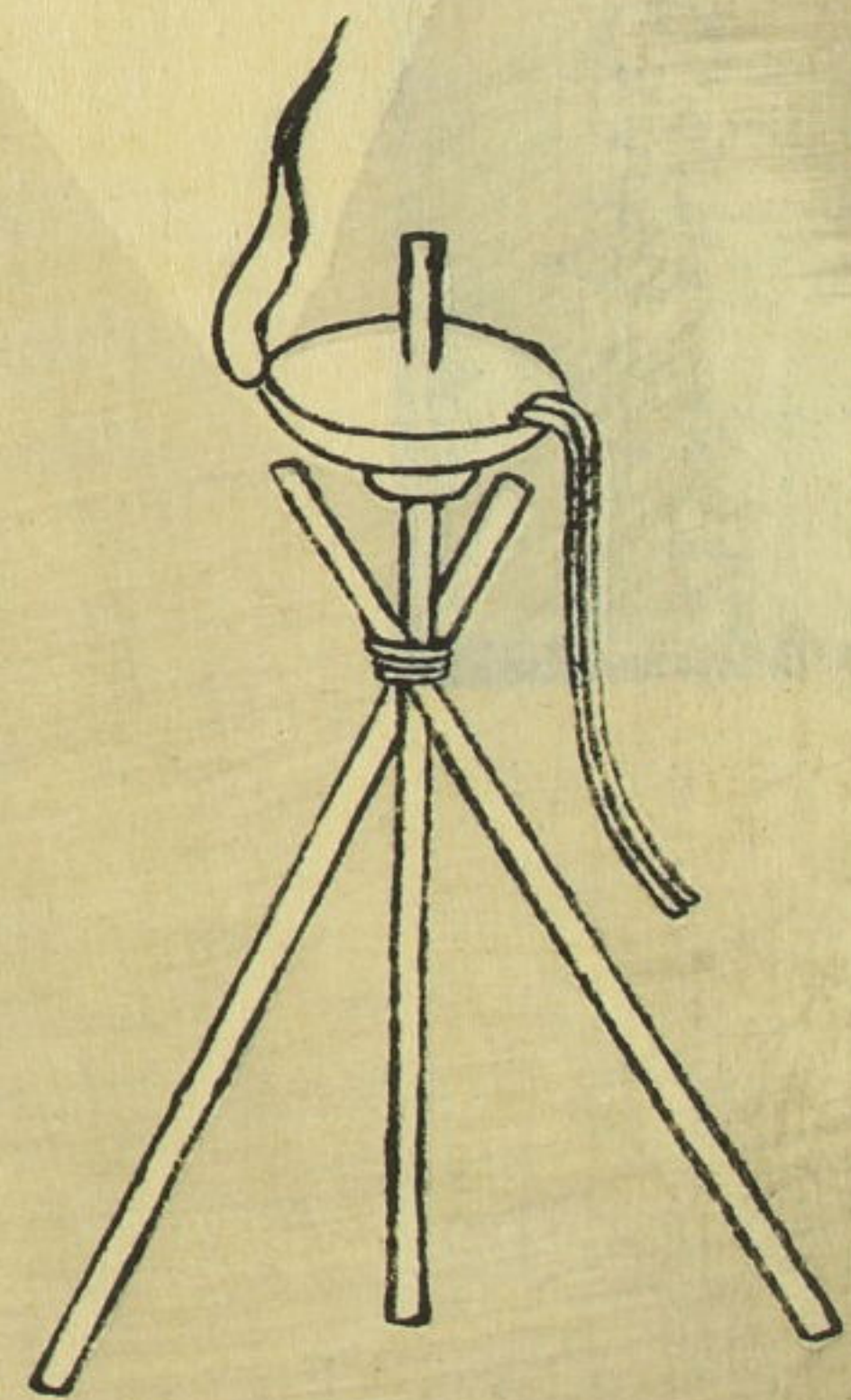




兒雷也  
豪傑譚

上卷

柳亭亭作  
一壽高画



泉市棒

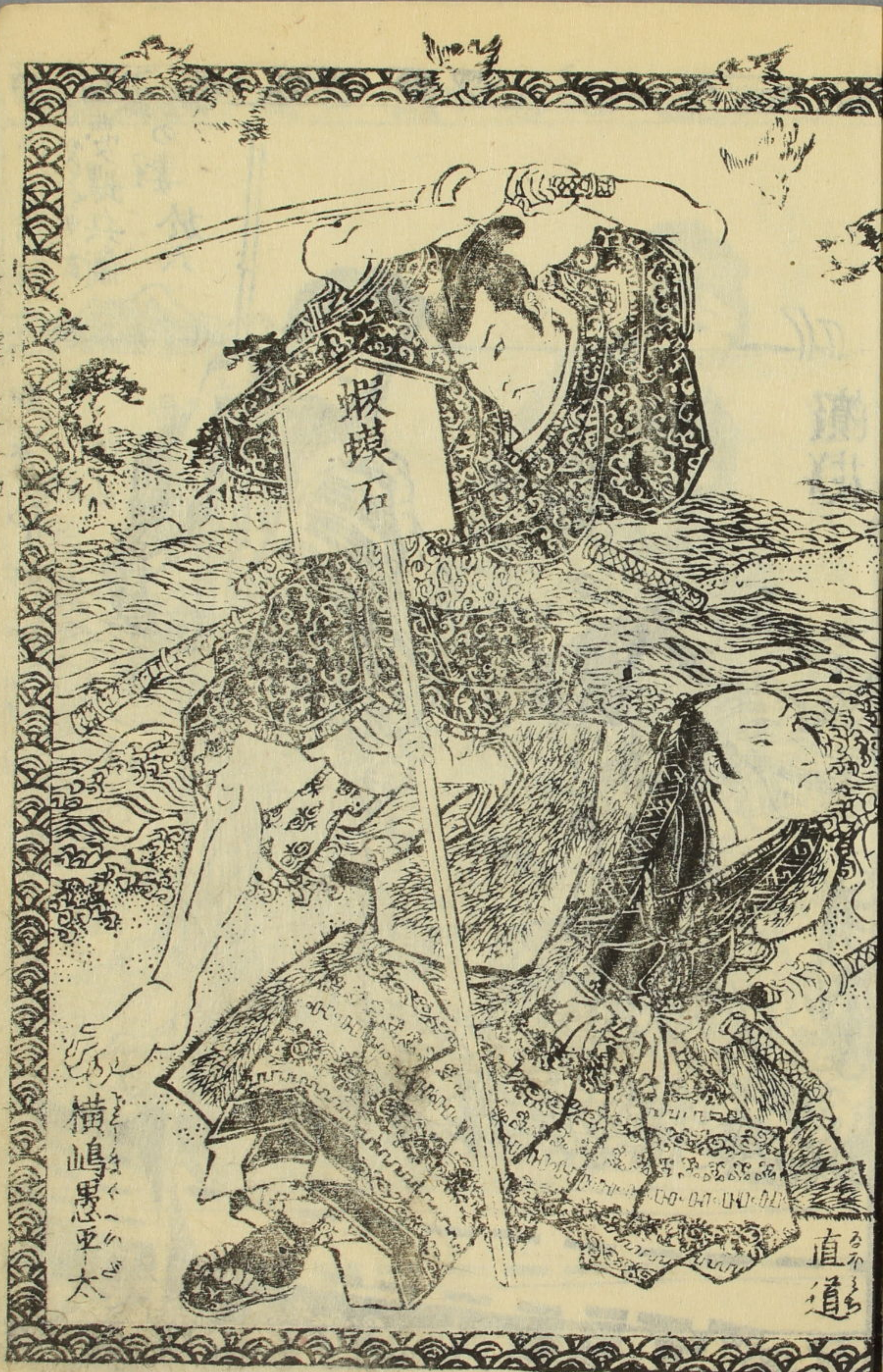


ひまげ愚吟の能風狂句の「月夜」ところらさるゝと不破の雨彼関屋の板廂も月  
 洩宵の風流ひさし久時雨の夜枕近江雷の音小寐兼やあつらん已  
 も好る戯作と以て世活とて風雅め各々毎度作意小く甘即と  
 ちんとあまよふかのせね  
 恰雨夜の不破関屋はねをる案小困む此書兒雷也の殊更小先達  
 趣小妙を尽くて教編の後僕手ふここれ別て新奇の工夫もあらむ無  
 據前編より此巻小説續る寐のぐろの一段の柳亭翁が二面鏡政  
 三年と翻案ともいふせん其名工と拙作の違ハ灰神鏡と海水精鏡水銀の  
 駁蓋の離人情世態争うらん欠きたらけの文談の角屋が軒の古廂  
 月の夕も雨の夜も照降すふ出情て後の聊るりとも看官の願ふまふと  
 とやと氣根を限り小漸練上不破中間も遠くらぬ車返の櫻木小彫つ

嘉永庚戌初春結稿  
同 辛史孟取發兌

柳下亭種員識





見雷也十五





高砂  
勇見之助  
の女  
照田

陸三郎



苗阿螺兵衛  
の妻  
於六

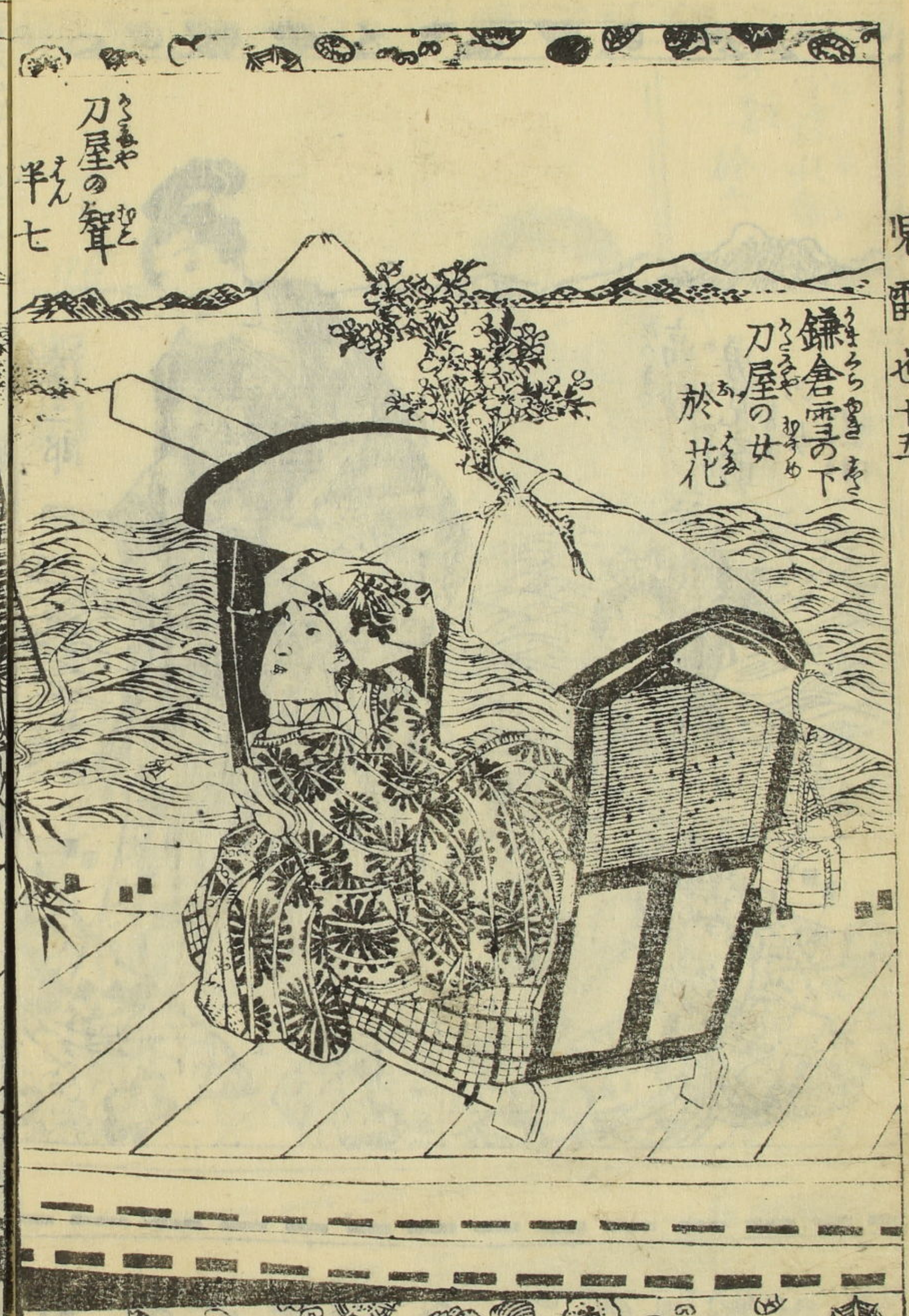
濱荻

小園





綱手



刀屋の聲  
靴七

鎌倉の  
刀屋の女  
於花

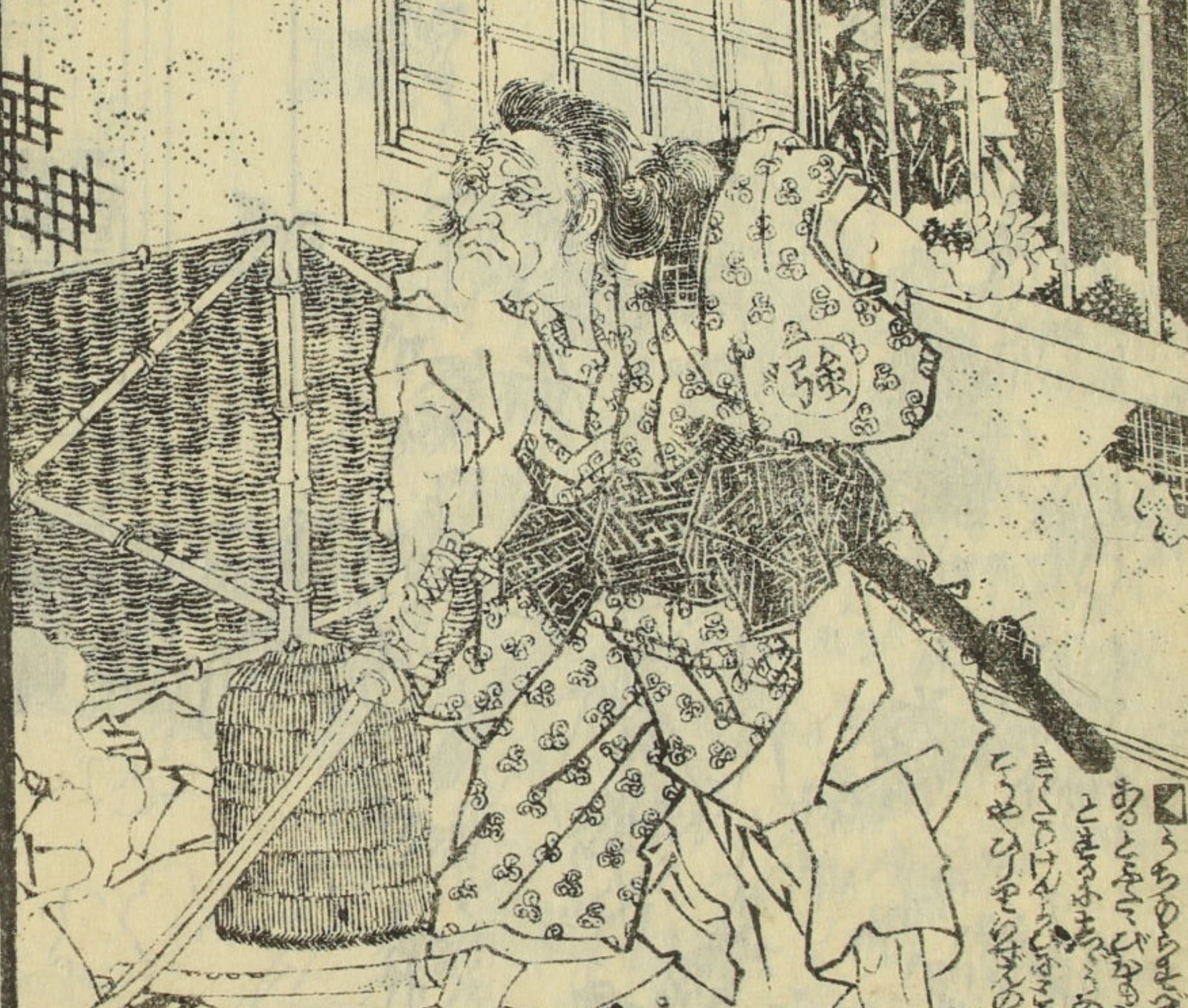
児雷也十五







Small columns of handwritten text in the upper right corner of the right page, likely a commentary or transcription.



Small columns of handwritten text in the lower right corner of the right page, continuing the commentary or transcription.

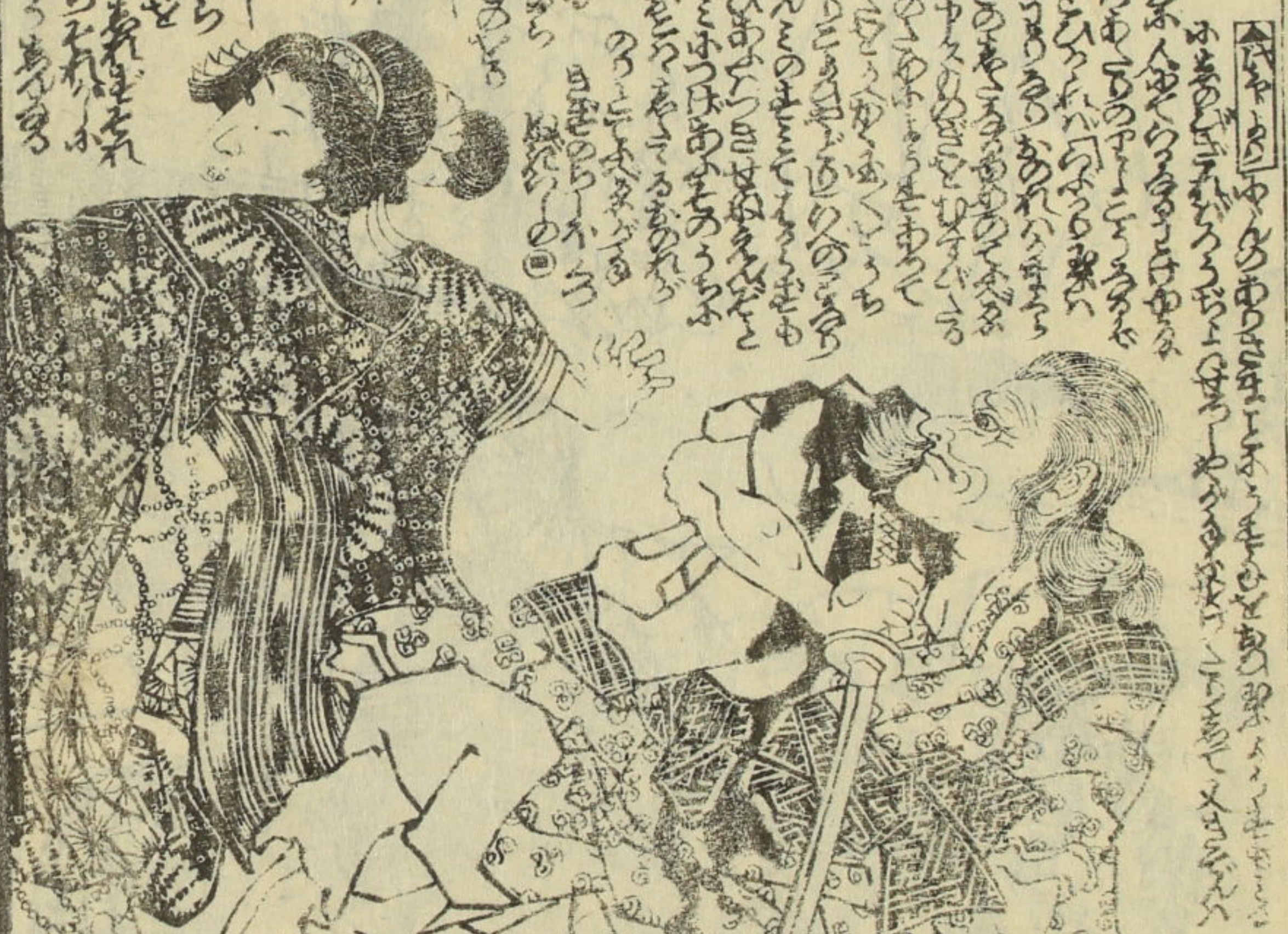
Small columns of handwritten text in the upper right corner of the left page, likely a commentary or transcription.



Small columns of handwritten text in the upper left corner of the left page, likely a commentary or transcription.



Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the scene below.



Handwritten text in vertical columns, likely a dialogue or commentary for the scene above.

Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the scene below.



Handwritten text in vertical columns, likely a dialogue or commentary for the scene above.

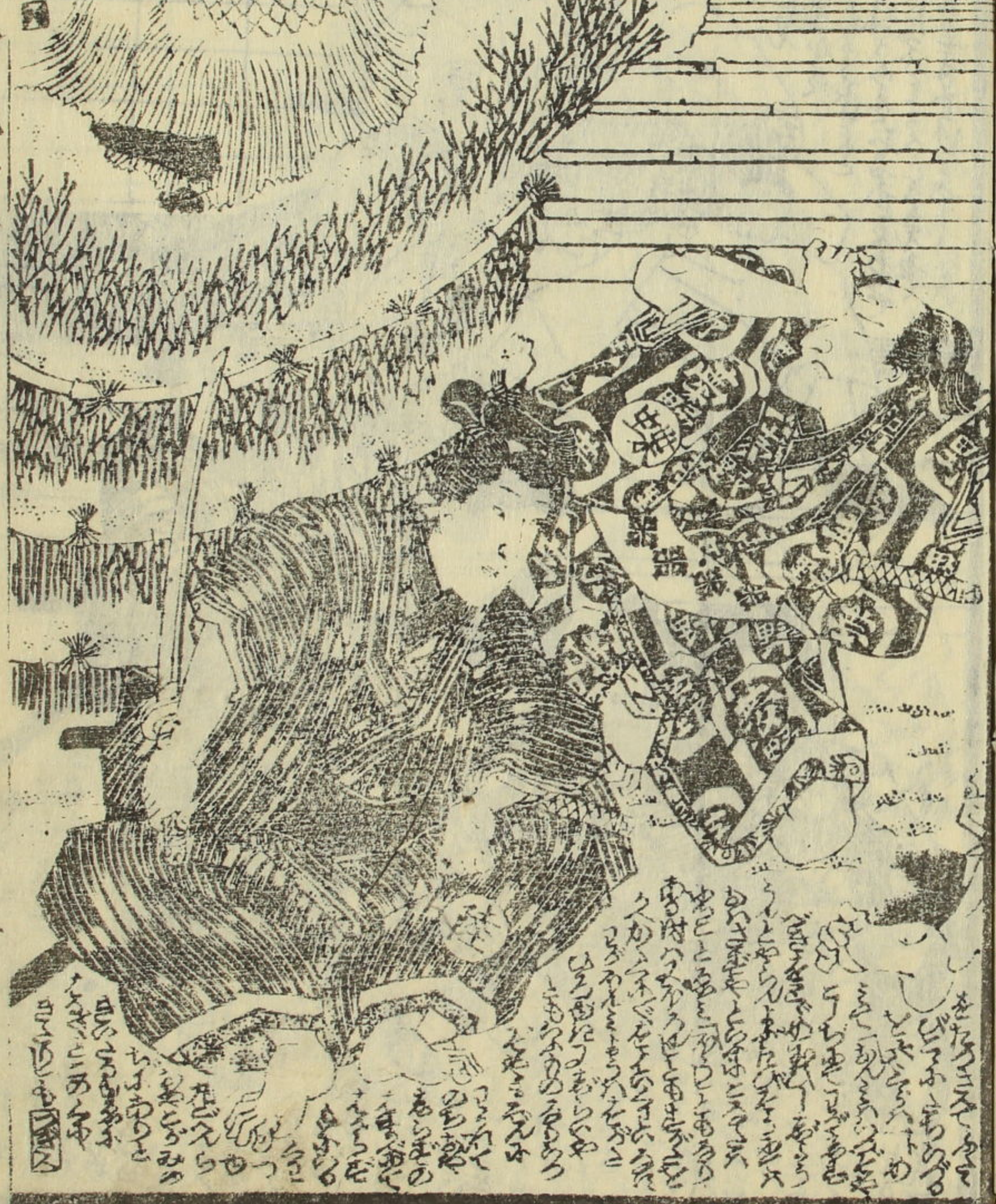


Handwritten text in a cursive script, likely a chapter introduction or a list of items, located at the top of the right page.



Handwritten text at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration above.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page, above the illustration of the woman's head.



Handwritten text at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration above.





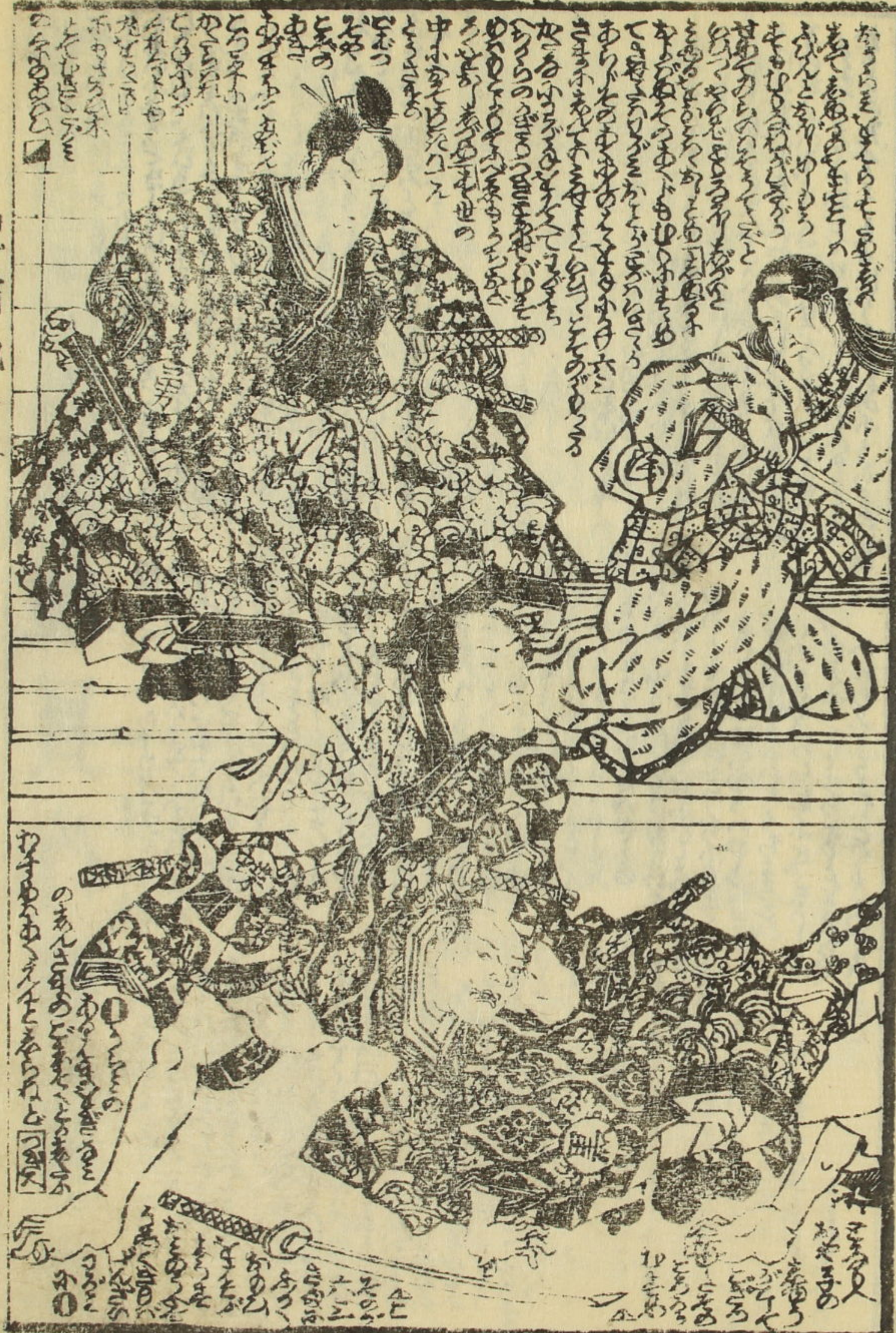




三浦 五十一  
 此の巻は、三浦五十一の物語を  
 述べて、その忠義と勇武を  
 讃揚する。この巻には、  
 三浦五十一が、敵軍と戦つて、  
 勇戦奮闘する様子が、  
 活々として描かれてゐる。

三浦五十一の忠義と勇武を  
 讃揚する。この巻には、  
 三浦五十一が、敵軍と戦つて、  
 勇戦奮闘する様子が、  
 活々として描かれてゐる。

三浦五十一の忠義と勇武を  
 讃揚する。この巻には、  
 三浦五十一が、敵軍と戦つて、  
 勇戦奮闘する様子が、  
 活々として描かれてゐる。



三浦 五十一  
 此の巻は、三浦五十一の物語を  
 述べて、その忠義と勇武を  
 讃揚する。この巻には、  
 三浦五十一が、敵軍と戦つて、  
 勇戦奮闘する様子が、  
 活々として描かれてゐる。

三浦五十一の忠義と勇武を  
 讃揚する。この巻には、  
 三浦五十一が、敵軍と戦つて、  
 勇戦奮闘する様子が、  
 活々として描かれてゐる。

三浦五十一の忠義と勇武を  
 讃揚する。この巻には、  
 三浦五十一が、敵軍と戦つて、  
 勇戦奮闘する様子が、  
 活々として描かれてゐる。







